

事務事業評価表

○基礎情報

課名		道路建設課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	48	交通を円滑に処理する道路網を整備する	藤間 治	管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				1 人	7 人	0 人	1 人	0 人	8.68 人	1,403 時間	16.7 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
都市計画道路の整備率	58.2%	59.0%	58.2%	58.2%	58.2%
幹線市道の計画事業費に対する進捗率	36.9%	50.4%	41.7%	42.6%	42.7%
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	幹線道路・環状道路の整備
2	国や県との連携による事業の円滑な推進
3	0
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)													Check		Action	
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円) R元決算(円)	R2予算(円) R2決算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生まれた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	上赤羽根堤線道路改良事業	1	0.38	一般	0 0	42,601,300 39,822,150	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。事業用地確保に向けて地権者との協議を行い、2地権者の用地買収を実施した。		事業の進捗状況	用地買収率 72.5%	用地買収率 61.3%	S	変動なし			
2	香川甘沼線道路改良事業	1	0.39	一般	27,375,000 27,334,575	909,700 223,500	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。事業用地確保に向けて地権者との協議を行い、2地権者の用地買収を実施した。		事業の進捗状況	用地買収率 26.0%	用地買収率 21.5%	S	変動なし			
3	高田萩園線道路改良事業	1	0.15	繰越	55,743,600 40,568,870	10,006,366 10,006,366	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。用地買収に伴う、物件補償を実施した。		事業の進捗状況	用地買収率 20.0%	用地買収率 12.2%	A	変動なし			
4	市道0109号線(鶴嶺通り)歩道整備事業	1	0.06	一般	0 0	0 0	狭あいな歩道の拡幅整備を行い、歩行者や自転車等安全を図る。用地買収に向けた準備を行った。		事業の進捗状況	用地買収率 46.2%	用地買収率 43.5%	B	変動なし			
5	市道0110号線(大岡越前通り)歩道整備事業	1	0.32	一般	12,009,000 10,163,339	15,962,117 14,892,502	歩道を設置し、歩行者や自転車の安全確保を図る。事業用地の確保に向けて、地権者との協議を行い、4地権者の用地買収を実施した。		事業の進捗状況	用地買収率 43.0%	用地買収率 56.5%	S	変動なし			

6	行谷芹沢線道路改良事業	1	0.30	一般	----- 0 0	10,362,000 10,024,300	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。本路線の現況を反映した詳細設計を実施するとともに、取得済用地の暫定舗装を行った。	事業の進捗状況	道路改良工事完了（Ⅰ期工区）	道路詳細設計完了（Ⅰ期工区）	A	変動なし		
7	新国道線街路整備事業	1	0.09	一般	----- 0 0	0 0	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。事業用地の確保に向けて協議を行った。	事業の進捗状況	用地買収率98.0%	用地買収率86.7%	S	増加		
8	東海岸寒川線街路整備事業	1	0.13	一般	----- 5,554,000 5,319,120	1,480,000 1,331,486	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保するため、用地買収に向けた準備を実施した。	事業の進捗状況 1幸町 2下寺尾	1用地買収率43.2% 2用地買収率9.7%	1. 用地買収率9.8% 2. 用地買収率0.0%	C	変動なし		
9	下寺尾芹沢線道路改良事業	1	0.41	繰越	----- 56,144,000 16,446,000	39,522,000 39,000,670	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。約85メートルの道路改良工事を実施した。	事業の進捗状況	用地買収率69.7%	用地買収率52.6%	A	変動なし		
10	浜園橋橋りょう整備事業	1	1.13	一般繰越	----- 35,613,000 29,895,483	12,512,420 11,000,462	橋りょうを整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。橋りょう整備工事（下部工）に着手した。	事業の進捗状況	【橋りょう】下部工左岸完了	【橋りょう】下部工左岸・右岸着手	A	増加	●	
11	市道7560号線歩道設置事業	1	0.13	一般	----- 4,906,000 4,873,000	0 0	歩道を設置し、歩行者や自転車等の安全確保を図る。道路詳細設計の発注に向け、課題抽出を実施した。	事業の進捗状況	道路詳細設計完了	路線測量完了	C	変動なし		
12	県立茅ヶ崎里山公園外周道路整備事業	2	0.18	一般	----- 5,016,000 3,995,200	145,000 99,550	道路を整備し、都市機能の充実を図り安全で円滑な交通を確保する。本路線と接続する行谷芹沢線との交差点詳細設計を実施した。	市道8570号線道路整備スケジュール	道路整備工事埋蔵文化財調査報告書作成作業	詳細設計完了（交差点部）	S	増加		
合計				R2予算(円)	133,500,903									
				R2決算(円)	126,400,986									

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

近年、交付金等の道路財源が幅広く配分される傾向にあり、相対的に道路整備に係る必要な予算が確保されず、道路整備全体の進捗が大きく抑制される要因となっている。このため、更に用地買収期間の長期化を招くこととなり、供用開始が遅れ、事業効果が早期に発現できないことが大きな課題となっている。財源の確保が厳しい現状の中、可能な限り事業進捗を図るには、単年度毎の事業が遅延せず確実に成果が得られるような業務改善を図っていくことが必要である。

職員の残業時間については元年度に比較し総時間で929時間から1,403時間となり、一人当たりに換算すると月平均12.9時間から16.7時間へ増加した。対外的交渉、設計積算業務、市民要望への対応等については時間外勤務により対応せざるを得ない状況である。残業時間増加要因としては、新型コロナウイルス感染症対策のための応援勤務が生じたこと、浜園橋橋りょう整備事業など予算規模の大きい事業が本格化してきていること、また新国道線街路事業や茅ヶ崎駅南口駅前広場改修事業など、神奈川県、JR、県警など関係機関との協議・調整や関係地権者との用地交渉が本格化していることが挙げられる。一部の職員に業務負担がからないうち、担当業務を切り分け課内でシェアするなど業務効率化を図り、課内全体で業務を遂行しながら、橋りょう、河川、交通渋滞緩和等に係る技術などを学び、人材育成の体制を構築していきたいと考えている。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
10	浜園橋橋りょう整備事業	令和2年度は、浜園橋橋りょう整備工事(下部工)において、橋りょう技術に係る高い専門性を必要とすることから、設計積算・現場監理業務を公益財団法人へ委託することで、業務の効率化をしつつ発注者の技術を補完し、業務成果の質的向上が確保され事務改善を図った。 令和2年度より約6か年に渡り大規模な工事を実施中であり、引き続き、設計積算や現場監理に係るマネジメントについても専門性の高い知見やノウハウを蓄積しながら事業実施していくとともに、建設工事のコスト縮減や完成後の効率的な維持管理に繋がられるよう、設計積算・現場監理業務の適正な導入を検討するなど更なる事務改善を図る。また、本業務は橋りょう技術のみならず、施工条件に制約のある仮設工や擁壁工、河川護岸工など対象とする土木技術が多岐に及ぶことから、課員全員が学びながらスキルアップを図ることで、質の高い事業成果を確保するだけでなく、人財の成長に繋がたいと考えている。

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
	－	現在位置づけを行っている事業については、道路整備プログラム等に基づき事業実施の優先度が高く、市民集会等を踏まえて地域ニーズが高い事業であることから、休廃止の検討はできないものと判断している。